

## 第4課

❖❖ 待ち合わせて買い物に行く ❖❖

### スキット

のぞみとサイダが何やら話をしています。一緒にどこかへ出かけるようです。

Nozomi (N) : Leo una darasa **hadi saa ngapi ?**

Saida (S) : **Hadi saa kumi na nusu.**

N : Baada ya hapo, kama **ukiwa na nafasi**, tufuatane kwenda madukani ?

Nataka kumnunulia rafiki yangu zawadi.

S : Sawa.

Tukutane wapi na **saa ngapi ?**

N : Basi tukutane hapo stesheni **saa kumi na moja ?**

S : Sawa, tutaonana baadaye.

(Dukani)

N : Nitamnunulia kalamu hii na daftari hili kuwa ni zawadi yake.

S : Vizuri. Lazima atafurahi.

のぞみ (N) : 今日は何時まで授業あるの？

Kyou wa nanji made jugyou aru no ?

サイダ (S) : 4時半までだよ。

Yo-ji han made da yo.

N : その後、もし暇だったら、一緒に買い物に行かない？

Sono ato, moshi himadatta ra, isshoni kaimono ni ikanai ?

友だちにプレゼントを買いたいんだよね。

Tomodachi ni purezento wo kaitainda yo ne.

S : いいよ。

Ii yo.

待ち合わせ、どこで何時にする？

Machiwase, doko de nanji ni suru ?

N : じゃあ、5時に駅で待ち合わせでいい？

Jaa, go-ji ni eki de machiwase de ii ?

S : いいよ、じゃあ、また後で。

Ii yo, jaa, mata ato de.

(お店で)

N : 俺、このペンとノートを友だちへのプレゼントに買うわ。

Ore, kono pen to nooto wo tomodachi e no purezento ni kau wa.

S : かわいいね。きっと友だちも喜ぶよ。

Kawaiine. Kitto tomodachi mo yorokobu yo.

## 解 説

第4課では、次の項目について学びます。

- ◆ 時刻表現  
… 数 (1~12)
- ◆ [動詞シルシ形] ナラバ・スレバ式



### ◆ 時刻表現

スキットの中に、‘saa kumi na nusu’〈4時半〉と、‘saa kumi na moja’〈5時〉、この2つの時刻が出てきました。

S : Hadi saa kumi na nusu. 〈4時半までだよ。〉

N : Basi tukutane hapo stesheni saa kumi na moja ?  
〈じゃあ、5時に駅で待ち合わせでいい？〉

‘hadi’は〈～まで〉という意味です。‘saa’が時刻の〈～時〉を表わします。‘na’は〈～と〉という意味、‘nusu’は〈半分〉、つまり〈(～時)半〉を表わしています。

さあ、では、‘kumi’が数字の〈4〉で、‘kumi na moja’が〈5〉なのでしょうか。…違うのです。‘kumi’は〈10〉で、‘kumi na moja’は〈11〉なのです。時刻と数字がずれていますね。

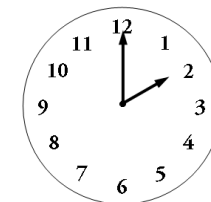
○ saa kumi na nusu 〈4時半〉  
(～時) (10) (と) (半)

○ saa kumi na moja 〈5時〉  
(～時) (11)

スワヒリ語の時刻表現には、日本語とは 6時間のずれがあります。これは、スワヒリ語では1日の始まりを、日の出の時刻とすることからきています。つまり、スワヒリ語では、日本語で言うところの6時から1日が始まるのです。ただし、時計の合わせ方は、普通、日本と同じです。長針は6時に時計盤の6を指します。

例で確認しておきましょう。(2時)を言い表わしたい場合は、数字は8を用い、‘saa nane’となります。

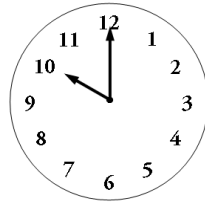
○ 2時



saa nane  
(8)

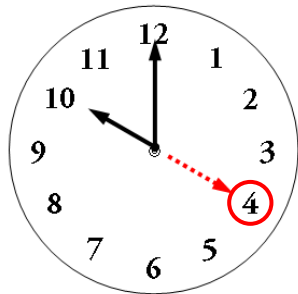
〈10時〉を言い表わしたい場合は、数字は4で、‘saa nne’となります。

○ 10時



saa nne  
(4)

6時間のずれですから、時計盤の対角の数字を言えばよいのです。



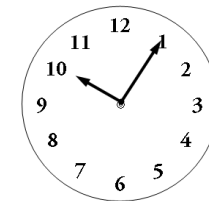
ここで、スワヒリ語の数の1から12までを見て覚えておきましょう。

▽ 数 (1~12)

- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| 〈1〉 moja  | 〈11〉 kumi na moja  |
| 〈2〉 mbili | 〈12〉 kumi na mbili |
| 〈3〉 tatu  |                    |
| 〈4〉 nne   |                    |
| 〈5〉 tano  |                    |
| 〈6〉 sita  |                    |
| 〈7〉 saba  |                    |
| 〈8〉 nane  |                    |
| 〈9〉 tisa  |                    |
| 〈10〉 kumi |                    |

さて、時刻の〈～分〉は‘dakika’で表わします。例えば〈10時5分〉は、‘saa nne na dakika tano’となります。‘na’は〈～と〉という意味でしたね。分には、ずれはありません。安心して下さいね。

○ 10時5分



saa nne na dakika tano  
(4) (5)

スワヒリ語の時刻表現で、午前、午後に当たる語はありません。その代わりに、‘asubuhi’〈朝〉、‘mchana’〈昼〉、‘jioni’〈夕方〉、‘usiku’〈夜〉などの語を使って、時間帯を明確に表わしたりします。

asubuhi 〈朝〉  
mchana 〈昼〉  
jioni 〈夕方〉  
usiku 〈夜〉

さあ、時刻を尋ねる表現も見てください。時刻を尋ねたい場合は‘saa ngapi’〈何時〉という表現を用います。‘ngapi’が〈いくつ〉という意味です。

**saa ngapi** 〈何時〉

現在の時刻を尋ねたい場合はこのように言います。‘sasa’が〈今〉、‘ni’が〈～である〉という意味です。

Sasa ni saa ngapi? 〈今、何時ですか？〉

また、何時までかを尋ねたい場合は、〈～まで〉という意味の‘hadi’や‘mpaka’を用います。

Hadi saa ngapi? 〈何時まで？〉

Mpaka saa ngapi? 〈何時まで？〉

## ◆ [動詞シルシ形] ナラバ・スレバ式

続いて、動詞シルシ形のナラバ・スレバ式について見ていきましょう。ナラバ・スレバ式は、「～ならば」、「～すれば」というように、条件や仮定を表わす言い方です。

[動詞シルシ形]  
ナラバ・スレバ式  
「～ならば」「～すれば」

スキットの中に、このような文が出てきましたね。

N : Kama **ukiwa na nafasi**, ... 〈もし暇だったら、…〉

第2課にもこのような文が出ていました。これらがナラバ・スレバ式です。

S : Sawa, tutaonana **tukijaaliwa**.  
〈はい、また会いましょう。〉

‘tukijaaliwa’は、日本語では訳出できませんが、文字通りは、〈神に思し召されるならば〉という意味です。‘+ jaaliwa’が〈神に思し召される〉という意味の動詞本体です。

tukijaaliwa 〈神に思し召されるならば〉



ナラバ・スレバ式の否定形では、ナラバ・スレバ式のシルシ‘-ki-’の代わりに、‘-sipo-’を用います。

▽ ナラバ・スレバ式(否定形)

主語の シルシ	-	<b>sipo</b>	-	目的語の シルシ	+	[動詞本体]
------------	---	-------------	---	-------------	---	--------

例を見ておきましょう。

((例 6)) **Asipofurahi**, ...  
〈彼が喜ばないならば, ... 〉

((例 7)) **Usipotaka** ~, ...  
〈あなたは~したくないならば, ... 〉

...❖

